

●関西学院大学 文学研究科総合心理学専攻

「国際化社会に貢献する心理学実践家の養成」の事例 <人社系>

具体的に何を実施したのか

国際化社会に貢献する人材を育成するため、心理学界での国際語である英語での議論と情報発信ができる能力の養成を目的とした英語力の強化を行った。英語を母語とする特任助教を雇用し、英語でのプレゼンテーションや論文作成の訓練を、また海外から研究者を招聘して英語での授業や討議を行った。さらに海外の大学や研究機関での研修を行うことにより、研究発表や討議を行う場を設け、活発な意見交換を行わせた。

実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと

一例として、英語を母語とする特任助教による英語でのプレゼンテーションの訓練においては、自身の発表をチェックするだけでなく、実際の発表会場を想定して発表者・質問者に分かれたロールプレイング方式の訓練を行い、様々な状況に対応できる力を養った。さらに、研究室等、研究者の日常的な生活場面での英語によるコミュニケーションの指導も行った。

どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか

2年半の採択期間で多数の大学院生が主に北米での学会や研修会・合同ゼミに参加したが、他にも南アメリカ大陸を除いた4大陸に専門活動が拡大した。大学院生を筆頭発表者とする国際学会での発表はのべ44名を数え、加えて、10件の海外研修を行った。毎週の英語訓練とそれをきっかけとした個々の努力により、海外研修においても大学院生が中心となって積極的な討議を行う事ができた。

●関西学院大学 文学研究科総合心理学専攻

「国際化社会に貢献する心理学実践家の養成」の事例 <人社系>

具体的に何を実施したのか

大学院教育における「科学者－実践家モデル」に基づき、従来の基礎重視の姿勢に加えて実習現場でのスーパービジョンを強化し、産業・教育・医療現場における「実習」を通して高度な実践力とコンサルテーションスキルを習得させた。「人と物」の分野では企業からの受託研究への参加や外部研究機関での共同研究の実施、「人と人」の分野では地方自治体との連携による教育現場・臨床現場での実習体験等を通して心理学実践家として必要な思考法と技術を習得させ、心理学による社会貢献の方法と内容を具体化させた。

実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと

「人と物」の分野では企業の企画・研究開発部門におけるプロデューサーやプロジェクトリーダーとして使いやすい機器や快適な環境など人の心に関わる製品やシステムの開発研究者を育成すること、また、「人と人」の分野では学校園臨床や医療の現場におけるリーダーとして問題の適切なアセスメントからエビデンスベーストの介入およびコンサルテーションを提供できる人材の育成を目指した。

どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか

従来の大学・研究所だけでなく、企業の研究開発部門等や学校園・病院臨床現場に多くの心理学実践家を輩出してきた。これらの事実は「科学者－実践家モデル」に基づく我々の取り組みが高度な専門的職業人養成に有用であることを示しており、大学院教育の改善・充実させるためのモデルとなりうることを示している。

●関西学院大学 文学研究科総合心理学専攻

「国際化社会に貢献する心理学実践家の養成」の事例 <人社系>

具体的に何を実施したのか

海外での学会や研修に参加する大学院生に旅費・宿泊費・参加費等の支援を実施した。特に、国際学会に限らず、国外の大学・研究施設や実践現場に大学院生や教員を派遣し基礎や応用の実地調査を行うとともに、世界の第一線の研究者たちとの討議を行わせた。

実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと

派遣に当たっては大学院生の自発的な活動を尊重し、相手の研究者や研究施設との交渉を大学院生自身が積極的に行い、教員はサイドで支援をするよう心がけた。さらに、定期的に国際学会・研修報告会を設け、海外での学術体験を総合心理学専攻の全大学院生に報告させた。

どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか

国際学会で発表する場合には他にも経済的援助を受ける手段はあったが、研修や研究室単位の研究室間ワークショップ等への参加を補助する制度はなかった。本プログラムによりこれを支援できたことは非常に効果があった。RAが下級生を指導しつつコーディネイト役を務めたことも、指導する側・される側ともに良い刺激を与えた。海外研修先の受け入れはどこも積極的であり、世界で最先端と評価されている研究および臨床教育実践の状況を実地に体験することができた。また、報告会に参加した大学院生は、先輩後輩の報告によりグローバルな視点から自己の研究を位置づけることの重要性を学んだ。